

KANSAI

**Gateway to Your Business Success
in Japan and Asia**

～ Kyoto, Osaka, Kobe ～

Hydrogen

INVEST JAPAN, INVEST KANSAI
-2025・日本語-

目次

はじめに

日本における水素関連の取り組み	2
2025年関西国際博覧会(大阪・関西万博)と水素	3

1

水素関連産業における関西の強み

1-1 水素関連産業における関西の強み	4
1-2 水素関連の技術開発拠点	6

2

関西の水素関連企業事例

2-1 海外連携に取り組む関西の中堅・中小水素関連企業	7
2-2 日本の水素社会をリードする大企業(川崎重工業株式会社)	9

3

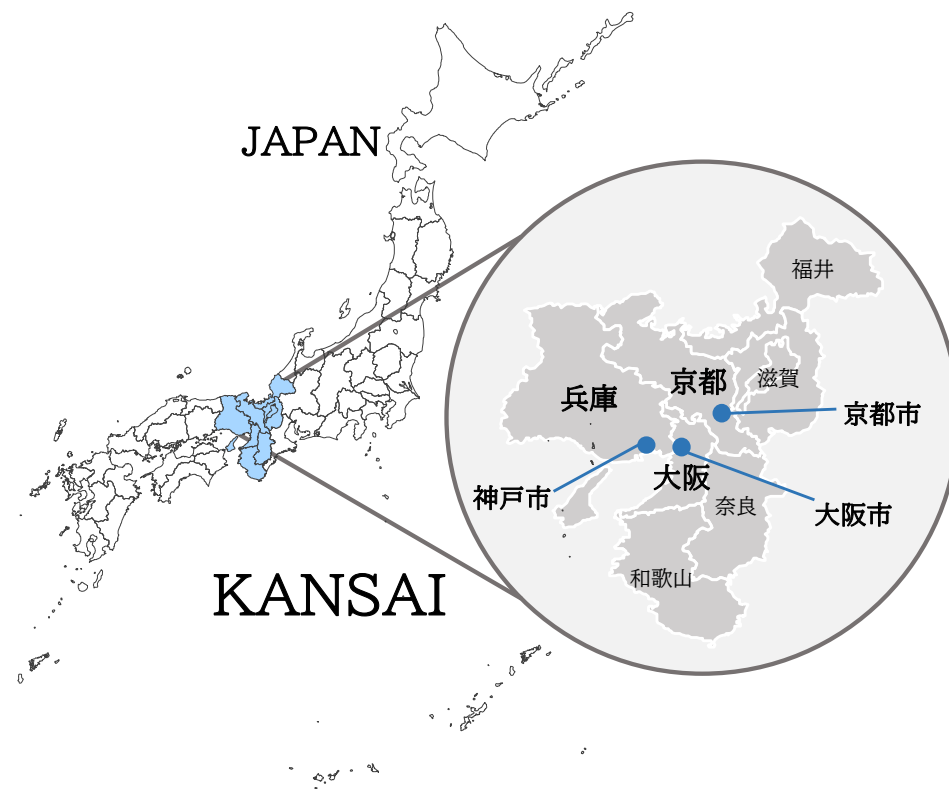
関西における水素関連産業の普及促進の取り組み

3-1 海外水素関係者との連携促進 (近畿経済産業局)	10
-----------------------------	----

4

対日投資サポート

4-1 関西の対日投資サポート体制	11
4-2 対日投資促進関連インフォメーション	12



日本における水素関連の取り組み

なぜ水素が注目されているのか

水素は、燃焼時にCO₂を排出しないクリーンなエネルギー源として注目されており、燃料電池や内燃機関でエネルギーを生み出す際に利用されるなど、他の再生可能エネルギーと組み合わせることで、持続可能なエネルギー社会の実現に寄与します。また、水素はさまざまな方法で生成することが可能ですが、特に再生可能エネルギーを利用した「グリーン水素」の生産が重要視されています。

今後の水素利活用に関しては、さまざまな分野での応用が期待されています。例えば、交通分野では燃料電池車の普及が進むとともに、公共交通機関や商業車両への利用が拡大する見込みです。また、産業分野では、製鉄や化学工業における利用が進むことで、カーボンニュートラルの実現に寄与することが期待されています。

水素社会実現に向けた日本の強み

サプライチェーンを構築するために必要な、水素を「つくる」、「はこぶ・ためる」、「つかう」それぞれの要素技術で強みを持つ日本の注目度は高く、国際的な連携を強化することで水素技術の開発や新たな市場の開拓が目指されています。

日本の水素戦略と政策について

水素基本戦略（2017年12月）
世界に先駆けて水素社会の実現に向けて将来目指すビジョンを示しました。

水素社会推進法（2024年5月）
水素の社会実装を後押しすることを目指し、低炭素水素等と既存原燃料との価格差を補填する支援や、水素等の製造および輸入に必要な施設の初期投資や運営費に対する支援が行われます。

第7次エネルギー計画 / GX2040ビジョン（2025年2月）
水素等の大規模サプライチェーンの構築を支援していきながらコストの低減と利用の拡大を進めていく方針を掲げ、今後の大規模な需要・供給拡大に対応ができるよう投資を加速させる予定です。

	つくる	はこぶ・ためる	つかう
要素技術の例	・水電解装置 ・電解膜等の部素材 ・アンモニア合成技術	・海上輸送技術 (液化水素、MCH等)	・燃料電池技術(FCV等) ・水素・アンモニア発電技術
主なプレイヤー	【水電解装置】 旭化成、トヨタ、東芝ESS、カナデビア、東レ ThyssenKrupp(独)、Siemens Energy(独)等	【液化水素船】 川崎重工、韓国造船海洋(韓)、GTT(仏)等	【燃料電池(FCV等)】 トヨタ、ホンダ、ダイムラー、現代自動車(韓)等 【発電】 三菱重工、IHI、Siemens(独)
日本の立ち位置	水電解装置の安全安定稼働や部材の革新的な技術開発に強み	世界初の液化水素運搬船による、日本への大規模海上輸送を完了	燃料電池において、世界に先駆けて研究開発を進め、特許数も世界トップクラス

2025年関西国際博覧会(大阪・関西万博)と水素

- 大阪・関西万博では、未来社会の実験場として水素の社会実装に関する新技術やサービスが披露され、来場者が実体験できる様々なコンテンツが用意されています。

水素技術展示・体験ブース

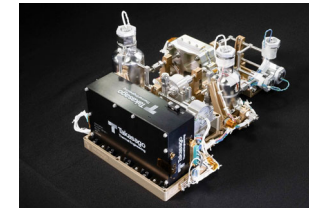
2025年9月22日～9月25日のテーマウィークには、水素技術に触れられる展示・体験の場が設けられます。20社以上が出展を予定し、最先端の水素技術を紹介する予定です。なお、水素を活用した月面探査車など、なかにはテーマウィークだけでなく通年の展示の中で見られるものもあります。



水素を活用した月面探査車



水素エンジンモーターサイクル



月面用水電解装置

(出典)経済産業省 資源エネルギー庁「未来のエネルギー技術が集結！大阪・関西万博の見どころをチェック ～太陽光・水素編」
https://www.enecho.meti.go.jp/about/special/johoteikyoku/expo2025_01.html

大阪・関西万博で活躍する水素燃料電池船

岩谷産業株式会社 大阪府大阪市

岩谷産業株式会社が開発した水素燃料電池船は、燃料電池で発電した電気とプラグイン電力のハイブリット動力で航行します。水素と空気中の酸素のみを使用し、運航時のCO2排出はゼロです。2025年大阪・関西万博にて燃料電池船での旅客運航(大阪市内～万博会場)を実施しています。



水素燃料電池船「まほろば」

会場への水素由来の電力供給

関西電力株式会社 兵庫県姫路市

関西電力株式会社は、姫路第二発電所で水素とLNG(液化天然ガス)を混ぜて燃焼し発電する実証試験を開始します。発電された電力の一部は、原子力や太陽光、水力と組み合わせ、ゼロカーボン電力として万博会場へ供給しています。



姫路第二発電所

1-1 水素関連産業における関西の強み

- 関西は、水素の製造・輸送・利用はじめ、それに伴う関連機器の製造など水素関連企業が集積しており、水素・燃料電池分野の技術及び市場のポテンシャルが高いと言われています。
- 特に、港湾部には重厚長大企業をはじめ、ものづくり企業が集積しており、水素活用のポテンシャルを有しています。

関西各地で進む水素の社会実装に向けたプロジェクト

関西には、水素分野におけるリーディングカンパニーが多く存在しています。様々な企業が自社のコア技術を生かして水素分野の技術開発を行い、水素関連の実証事業を全国に先駆け数多く実施しています。

■国内初の商業用液化水素製造プラント

(株)ハイドロエッジ 大阪府堺市

2006年より国内初の商業用液化水素製造プラントとして営業運転を開始し国内の液化水素安定供給に寄与。2020年に増強工事を実施し、液化水素の年間製造能力は6000万m³と国内最大のプラントとなった。



大阪臨海地域

■水素・アンモニアSC構築

三井物産(株)×三井化学(株)(株)IHI×関西電力(株) 大阪府

2023年8月大阪の臨海工業地帯を拠点とした水素・アンモニアのサプライチェーン構築に向けた共同検討に関する覚書を締結。大阪の臨海工業地帯でのアンモニアの受入、貯蔵、供給拠点の整備などに関する検討や、関西・瀬戸内地域での利活用先の拡大に向けた調査などに取り組む。



■排ガスからの回収CO₂やグリーン水素を活用した国産e-メタンの大規模製造

大阪ガス(株)×ENEOS(株) 大阪府

2023年8月、大阪港湾部におけるグリーン水素を活用した国内初となる国産e-methaneの大規模製造に関する共同検討を開始。海外で製造したグリーン水素を、効率的な水素の貯蔵・輸送手段の一種であるメチルシクロヘキサンに変換して輸送し、国内で回収したCO₂と組み合わせ、国産e-メタンの大規模製造の検討に取り組む。



1-1 水素関連産業における関西の強み

関西各地で進む水素の社会実装に向けたプロジェクト

■国際液化水素サプライチェーンモデルの実証

川崎重工業(株)×岩谷産業(株)×シェルジャパン(株) 兵庫県神戸市

技術研究組合CO₂フリー水素サプライチェーン推進機構(HySTRA)は、世界初の液化水素運搬船「すいそふろんていあ」を用いて、オーストラリアから日本へ褐炭由来を含む液化水素を輸送し、液化水素荷役ターミナル「Hy touch 神戸」(神戸市)で荷揚げする技術実証が成功。



■水素を活用したエネルギーソリューション「Panasonic HX」の実証

パナソニック(株) 滋賀県草津市

5kW純水素型燃料電池99台と太陽電池(約570kW)を組み合わせた自家発電設備とリチウムイオン蓄電池(約1.1MWh)により、事業活動で消費するエネルギーを100%再生可能エネルギーで賄うことを目指した「Panasonic HX」実証施設「Panasonic HX Kusatsu」を2022年4月15日より稼働。



■世界初となる水素製造から発電利用まで一貫実証可能な設備が稼働

三菱重工業(株) 兵庫県高砂市

水素発電の早期商用化に向け、開発・設計・製造・実証拠点を置く高砂製作所内に水素製造から発電にわたる技術を世界で初めて一貫して検証できる「高砂水素パーク」を整備し、水素製造および大型実証設備での水素発電試験を実施中。



播磨臨海地域

草津

神戸港

1 水素関連産業における関西の強み

1-2 水素関連の技術開発拠点

- 関西には、大企業の技術開発拠点が多数あり、先進的な水素関連の技術開発・実証が行われています。

開発実証パーク(D&Dパーク)

株式会社IHI

兵庫県 相生市

概要

石炭火力発電所向け大型ボイラー等を製造する相生工場の敷地内に所在するD&Dパーク(兵庫県相生市)は、各種燃料の燃焼技術の改良やCO₂分離回収技術の開発を目的としたクリーン燃料燃焼試験設備を有しており、CO₂分離回収技術や大型発電所でのアンモニアの専焼実現に向けた研究・開発実証を進めています。



岩谷水素技術研究所

岩谷産業株式会社

兵庫県 尼崎市

概要

岩谷水素技術研究所(兵庫県尼崎市)は、液化水素向けの機器類評価や材料の水素適合性評価を通じて水素インフラ設備等のコストの低減、安全性向上、規制見直しにつながる研究を行っています。また、液化水素浸漬試験(-253℃)や極低温高圧水素環境下(圧力:100MPa、温度-150℃)での曝露試験など、実際の利活用を想定した多様な試験を実施することが可能です。



Carbon Neutral Research Hub(CNRH)

大阪ガス株式会社

大阪府 大阪市

概要

CNRHは、大阪ガスの研究開発発祥の地である西島地区に開設。都市ガスのカーボンニュートラル化に向けた技術や、環境にやさしいグリーン水素の製造といったカーボンニュートラルなエネルギーを「つくる」技術、うまく「つかう」技術等の研究開発を推進しています。



2-1 海外連携に取り組む関西の中堅・中小水素関連企業

- 関西には、水素関連の高い技術力・優れたサービスを強みとする中堅・中小企業が数多く存在しています。
- 大企業のみならず海外連携に取り組む企業も多く、関西は水素関連のパートナーシップを築くのに最適な地域です。

株式会社福井製作所

企業概要

- ・ 世界中のエネルギーインフラに携わる安全弁専門メーカー
- ・ 液化水素温度における世界初&唯一の安全弁船級認証取得企業

技術・サービスの強み

液化水素マーケットにおいては、水素の液化温度である -253°C の極低温での作動性能を検証するため試験装置を新規製作、日本海事協会の立会のもと実温実圧での作動試験を実施し、 -253°C における世界初の船級型式認証を取得。CCS用の液化 CO_2 運搬船でも、いち早くドライアイス生成の懸念へ対応した製品改良を行い、世界で注目を浴びるNorthern Light PJをはじめ、これまで計9隻の受注実績でシェア100%を維持。世界各地のメンテナンスへ対応するため、複数のパートナーの協力のもと、18ヶ国25ヶ所にグローバルネットワークを築いている。



▲大型液化水素運搬船向け
カーゴタンク用パイロット式安全弁



▲海外エネルギー展示会「Gastech」出展の様子

所在地	〒573-1132 大阪府枚方市招提田近1丁目6番地
担当部署名	グローバルマーケティンググループ
TEL	072-857-5501
E-mail	osk@fkis.co.jp



阪神機器株式会社

企業概要

- ・ 燃料電池発電システムで水素エネルギー社会に貢献
- ・ 顧客ニーズに合わせたシステム全体のサービスを提供

技術・サービスの強み

災害分野での非常用電源や商業用モビリティなど、様々な顧客ニーズに合わせた少ロットの燃料電池発電システムを提供。燃料電池および補機など基本要素は国産製品を採用しており、また、高品質かつ長寿命な製品をワンパッケージ化したことで、可搬式での発電システムの構築が可能。発電部だけでなく、顧客が望むかたちでシステム・サービス全体をワンストップで提供が可能。



▲1kW級燃料電池発電システム
「Hydro.eLife」



▲神戸市ものづくり中小企業展示商談会での
発電実証状況

所在地	〒651-2124 兵庫県神戸市西区伊川谷町潤和字一ノ坪745番地
担当部署名	電気機器製造部
TEL	078-974-5315
E-mail	info@hanshinkiki.co.jp



2-1 海外連携に取り組む関西の中堅・中小水素関連企業

株式会社神戸工業試験場

企業概要

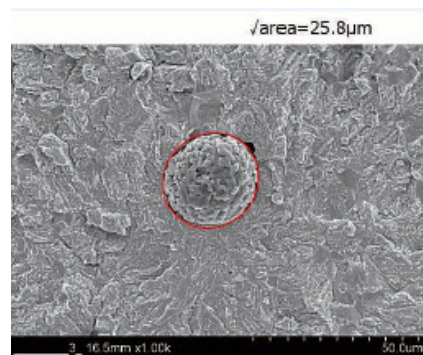
- ・ 試験方案の提案からアフターフォローまで一括受託
- ・ 各種認定・認証にもとづく国内最大手の独立系試験機関

技術・サービスの強み

水素環境中に用いられる構造材料や機能性材料の評価(各種強度試験、疲労試験、材料試験、化学試験など)に強みを持つ。また、水素環境中の評価により材料に対する水素の影響を調査することも可能。様々な顧客ニーズに応えるため産官学共同での技術開発を行っており、近年では水素吸蔵合金を活用したアプリケーション開発で実績を上げている。



▲高圧水素下疲労試験装置の外観写真



▲水素チャージ法による介在物現出例

所在地	〒652-0863 兵庫県神戸市兵庫区和田宮通三丁目2番24号
担当部署名	管理本部
TEL	090-4031-3277
E-mail	n-tsurui@kmtl.co.jp



株式会社山本電機製作所

企業概要

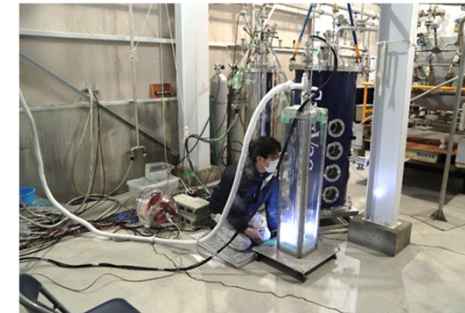
- ・ 微差圧計の国内トップシェアメーカー
- ・ センサ開発で培ったノウハウを活かし液化水素レベルセンサの開発に成功

技術・サービスの強み

MgB2線という超電導材を使用した全く新しいタイプの液化水素レベルセンサで、液相部と気相部の電気抵抗値を計測することで液面高さを割り出す。高い精度と応答性を誇り(±2%F.S. ≤100ms)、モビリティタンクのように変化のある液面にも対応することが可能な唯一の水素液面計。動作部品を持たないことや、構造上断線を引きおこす要因が極めて少ないことから、メンテナンスフリーで超長寿命を実現。



▲Hydrogen Technology Expo Europe
2023での展示の様子



▲神戸大学での検証の様子

所在地	〒653-0031 兵庫県神戸市長田区西尻池町1-2-3
担当部署名	営業部
TEL	078-631-6000
E-mail	eigyoku@manostar.co.jp



2-2 日本の水素社会をリードする大企業(川崎重工業株式会社)

事業概要

【水素サプライチェーン全般の技術を保有】

船舶・鉄道車両・航空機・モーターサイクル・ガスタービン・ガスエンジン・産業プラント・油圧機器・ロボットなどの多彩な事業を展開する総合エンジニアリングメーカーです。

川崎重工グループは、2030年に目指す将来像として、グループビジョン2030「つぎの社会へ、信頼のこたえを～Trustworthy Solutions for the Future～」を制定しました。当社グループは、今後注力するフィールドを「安全安心リモート社会」「近未来モビリティ」「エネルギー・環境ソリューション」とし、より成長できる事業体制への変革を目指しています。

Kawasaki Hydrogen Road: <https://www.khi.co.jp/hydrogen/>



▲液化水素運搬船「すいそふろんていあ」

企業紹介／導入事例・実績

〈企業概要〉



(東京本社)
所在地：東京都港区海岸1-14-5
(神戸本社)
神戸市中央区東川崎町1-1-3
代表者：橋本 康彦
資本金：104,484百万円
設立：1896年10月15日

〈事業内容〉

船舶・鉄道車両・航空機・モーターサイクル・ガスタービン・ガスエンジン・産業プラント・油圧機器・ロボットなどの多彩な事業を展開する総合エンジニアリングメーカー

〈PR、導入事例、実績〉



▲水素ガスタービンコージェネレーションシステム
(神戸ポートアイランド)

Hydrogen Roadの取り組みから、「国産初の水素液化機を開発、販売」「世界に先駆けての液化水素運搬船の開発・建造、豪州からの液化水素の海上輸送実証の成功」「世界初となるドライ低NOx水素専焼ガスタービンコージェネレーションシステムの開発、販売」といった実績を上げています。

技術・サービスの強み

水素を「つくる」「はこぶ」「ためる」「つかう」ためのサプライチェーン上流から下流に至るすべての技術開発を進めており、水素社会の早期実現を目指しています。その実現に向けて、CO₂フリーの水素製造および液化(つくる)に始まり、液化水素の運搬船間の荷役、大量海上輸送(はこぶ)、液化水素の貯蔵(ためる)、水素の特性に最適化したガスタービン発電(つかう)に至るサプライチェーンのコア技術の開発を、NEDO助成事業により協力企業と共に進めています。この水素チェーンを実現することで、大量かつ安定的なクリーンエネルギーの供給が実現するだけでなく、CO₂の大幅な削減が可能になります。川崎重工は、サプライチェーン全般の技術を一社で保有する世界で唯一の企業として脱炭素社会実現に貢献します。

今後のビジョン

当社は日本水素エネルギー(株)(JSE)の最大出資会社として、グリーンイノベーション基金の「液化水素サプライチェーンの商用化実証」(プラント構成は最小系列として経済性を含む商用化の成立性を見極める)を行い、2030年に液化水素サプライチェーンの「商用化」を目指します。

担当部署

部署名：水素戦略本部 プロジェクト総括部
HPよりお問い合わせください
<https://www.khi.co.jp/corporate/contacts/>



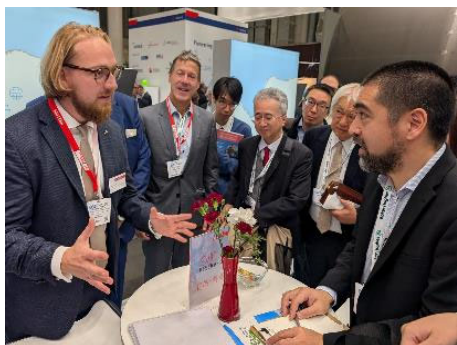
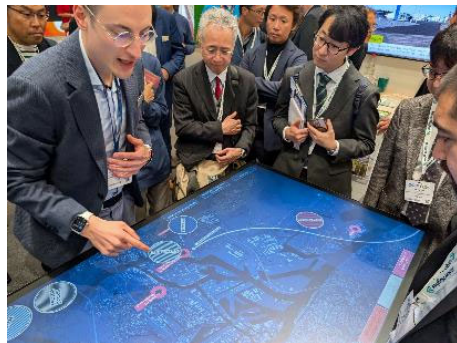
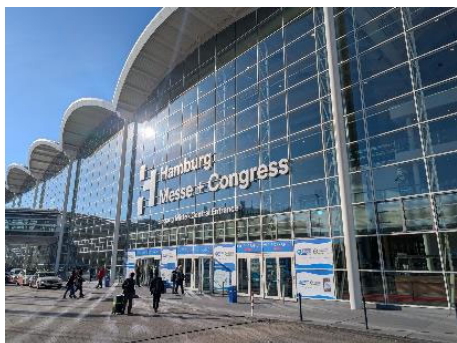
3 関西における水素関連産業の普及促進の取り組み

3-1 海外水素関係者との連携促進（近畿経済産業局）

- 関西の企業や自治体等ステークホルダーと協力し、水素関連産業のポテンシャルが高い関西地域の取組・企業等のPRや、関西と海外の地域間連携の促進および同産業の拡大に向けた取り組みを進めます。

国際展示会等を活用した企業の海外展開支援

海外展開に積極的な自治体や産業支援機関等と連携し、関西の水素関連企業と海外企業間の協業やビジネスマッチング等に繋げていくことを目指します。
欧州最大級の水素技術展示会「HYDROGEN Technology EXPO EUROPE 2024」では、ドイツおよび諸外国の最新動向を学ぶ機会の提供や、関係各機関・企業等との意見交換を実施しました。



▲HYDROGEN Technology EXPO EUROPE 2024でのブースツアーの様子(2024.10.23~2024.10.24)

関西と海外地域間における関係性構築

日本国内含め、各国で開催される国際展示会やイベント等で、関西地域のポテンシャルをPRし、水素関連産業の施策が進展している国や地域と関係性を構築しています。
一例として、関西とドイツの間で企業のビジネス連携を将来的に進めることを目的に、両国のプロジェクトや水素関連企業の取り組みを学ぶイベントの開催や、日独の官公庁が現状の課題や将来の展望について議論するワークショップに登壇しました。



▲左上「日独水素シンポジウム2025 大阪」(2025.02.17)／
右上・中央「日独水素ワークショップ」(2025.02.18)

関西における水素関連企業データ集

関西に拠点を持ち、水素分野に参入された企業の一例を紹介するデータ集をご用意しております。



https://www.kansai.meti.go.jp/5-1shiene/smart_energy_initiative/hydrogen_data/japanese/r6_h2data_ip_overall.pdf

(冊子PDF)



4-1 関西の対日投資サポート体制

- ジェトロ対日投資・ビジネスサポートセンター(IBSC)では、関西に進出を考えている外国企業に対し、情報提供や個別コンサルテーションなどの各種支援を行っています。
- 各自治体等による対日投資サポート機関でも、様々なワンストップサービスを提供しています。

関西へのファーストコンタクト窓口

対日直接投資誘致機関であるジェトロは、外国企業が日本に進出し国内市場でビジネスを拡大するための支援として、情報発信から企業の発掘、日本での拠点設立支援、日本国内でのビジネス拡大の支援までを一貫して行います。

ジェトロについて：<https://www.jetro.go.jp/>

対日投資をサポートする窓口が関西各府県にあります		 JETRO 日本貿易振興機構(ジェトロ)
大阪	ジェトロ対日投資・ビジネスサポートセンター大阪(ジェトロIBSC大阪) TEL: 06-4705-8660 URL: https://www.jetro.go.jp/jetro/japan/osaka	
兵庫	ジェトロ対日投資・ビジネスサポートセンター神戸(ジェトロIBSC神戸) TEL: 078-231-3081 URL: https://www.jetro.go.jp/jetro/japan/kobe	
福井	ジェトロ福井貿易情報センター TEL: 0776-33-1661 URL: https://www.jetro.go.jp/jetro/japan/fukui	
滋賀	ジェトロ滋賀貿易情報センター TEL: 0749-21-2450 URL: https://www.jetro.go.jp/jetro/japan/shiga	
京都	ジェトロ京都貿易情報センター TEL: 075-341-1021 URL: https://www.jetro.go.jp/jetro/japan/kyoto	
奈良	ジェトロ奈良貿易情報センター TEL: 0742-88-0070 URL: https://www.jetro.go.jp/jetro/japan/nara/	
和歌山	ジェトロ和歌山貿易情報センター TEL: 073-425-7300 URL: https://www.jetro.go.jp/jetro/japan/wakayama	

京阪神の主な対日投資サポート機関

京阪神への進出を希望する外国企業、外国公館・経済団体、また2次進出を希望する在日外資系企業に対して、必要とされる情報を提供し、的確なアドバイスをするなどきめ細かなサポート体制が整ったワンストップ・サービス・センターとして活動しています。

京都	 京都海外ビジネスセンター kyoto-obc.jp 京都海外ビジネスセンター TEL: 075-366-4364 URL: https://www.kyoto-obc.jp/
大阪	 Osaka Business and Investment Center 大阪外国企業誘致センター(O-BIC) TEL: 06-6944-6298 URL: https://o-bic.net/j/
大阪	 IBPC 大阪 一般財団法人大阪国際経済振興センター 国際部(IBPC大阪) TEL: 06-6615-7130 URL: https://www.investosaka.jp/
兵庫	 ひょうご・神戸投資サポートセンター ひょうご・神戸投資サポートセンター TEL: 078-271-8401 URL: https://hyogo-kobe.jp/best/

4-2 対日投資促進関連インフォメーション

外国・在日外資系企業向けのインセンティブ等

外国・在日外資系企業の日本での事業可能性調査支援(対内直接投資促進事業費補助金)

目的	外国・在日外資系企業による日本への革新的な技術やビジネスモデル等の導入・展開を支援するため、外国・在日外資系企業の日本への投資・事業拡大や日本企業との協業に関する事業可能性調査費用を補助。	
内容	対象企業	①在日外資系企業： 単独又は日本企業・研究機関等との連携 ②日本企業： 外国企業又は在日外資系企業と協業連携
	対象事業	製造、ヘルスケア、グリーン、その他デジタル関連技術(モビリティ、Fintech、卸・小売り)等分野において、日本への技術・ビジネスモデル等の導入に資するもの。 特に半導体・マイクロエレクトロニクス、ライフサイエンス、脱炭素分野を重視。
	補助金額・上限	1件あたり2,000万円(中小企業1/2補助、大企業1/3補助)
	対象事業要件	在日外資系企業もしくは協働先の外国企業が、日本での投資・事業拡大・協業連携等の具体的プロジェクトを有しており、本事業の実施により、日本への進出・日本国内での協業連携案件創出が促されるものであること など
詳細・最新情報	ジェトロ 対内直接投資促進事業費補助金 公募について https://www.jetro.go.jp/invest/newsroom/2025/8afd0b792bf97c2d.html	
問い合わせ先	ジェトロ ビジネスデベロップメント課(実証担当) TEL:03-3582-5644	



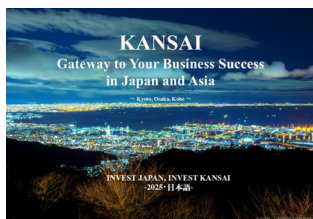
関西の対日投資関連PRコンテンツ

【INVEST JAPAN, INVEST KANSAI】

https://www.kansai.meti.go.jp/3-1toukou/invest_kansai/index.html

関西経済の概要をはじめ、充実したインフラ・立地、大学・研究機関や多様な産業の集積、管内主要自治体のサポート情報等、多岐にわたる情報をコンパクトに紹介しています。

【全体版】



▲冊子 2025年版

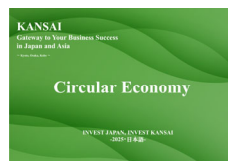
【分冊版】



▲イノベーション編



▲ライフサイエンス編



▲サーキュラーエコノミー編



動画でも投資環境として関西が持つ魅力や強みを紹介しています。

5分動画 >> <https://youtu.be/ANHHz-82Uqrs>
 short動画 >> <https://youtu.be/ET8MKZb4IFQ>



▲動画-5分版-



▲動画-short版-



関西への対日投資に関するワン・ウィンドウ

対日投資 関西



本冊子に係るお問い合わせ先

経済産業省 近畿経済産業局 国際部 投資交流促進課
〒540-8535 大阪府大阪市中央区大手前1丁目5-44
TEL: 06-6966-6033 E-mail: bzl-invest-japan-kansai@meti.go.jp
URL: <https://www.kansai.meti.go.jp/taichitoushi.html>

本書は出典を明らかにしていただければ、自由に引用していただけます。
ただし、写真については転載・複写はできません。詳細はお問い合わせください。

(2025年5月発行)